



宮城県森林インストラクター協会

MIFI NEWS



77

令和3年3月発行











巻頭言

会長 14期 髙橋 孝紀

共進化という言葉があります。ある生物の変化が引き 金となり、他の生物に影響し互いに競い合い進化してい く事を言うようです。例えばイネ科の植物は葉に珪素成 分を宿し、葉を固くして食べられないようにしました。 更に、葉が食べられてもすぐに根元から芽を出せるよりに、その成長点を根元に移して葉の栄養分を根元に移してました。しかし、それでもその葉を食べる草食動物 現れました。中は4つの胃を体内に対して、草食動物にきるようにしたのです。草の進化に対して、草食動物も又、生きる為に進化して適応していったのです。そこには生存をかけた環境適応能力が求められますが、適いを取りです。過去から続く人とウィルスとの戦いも、互いの強み・弱みを直視し、次のステージに進化を成し遂げた方が勝ち残るようです。 過去の成功に安住しては生き残れず、人もオチオチしてはいられません。

期せずして、今年は牛(丑)年です。牛は昔から農耕生活をする私たちにとって、欠かせない動物であります。 人間と牛との長い付き合いの中で私たちは牛から様々なことを学ぶことも多かったようです。丑年は、寡黙ながらも急がず歩む牛の姿から、「我慢強く耐える、粘り強さ、誠実、着実に進む、芽の出る前触れ、等等」の年と伝えられてきました。耐えながらも新しい時代を迎える事を暗示しているかのようです。

本年も、ひたむきな牛の姿勢に学びつつ、一歩一歩、協会の理念にある、「県土を愛し、次世代に森林の恵みを引き継ぐ活動」の為に、会員の皆様とともに進んでまいりたいと思います。会員の皆様のご協力、ご支援をお願い申し上げます。

P.1 *巻頭言*

P.2 きかくがいろん

P.3 事業部報告

P.4 *山開き 研修報告*

P.5 森林環境税

P. 6-7 *冬の活動報告*

P.8 施設便り"私の一押し"

P.9 リレー式

P.10 ひよこ/インフォメーション

P.11 2020 川柳/編集後記

P.12 海岸防災林植樹地マップ

Gekiron! きかくがいろん Bouron!



🌺 海岸防災林がいろん 🌺



1期 木村 健太郎

いよいよ宮城県を中心に、「みやぎ海岸防災林・森林 づくり協議会」が設立されることになりました。

宮城県の海岸防災林に関係している団体と市町が連 携して末長く海岸防災林を見守っていこうという趣旨 で、当協会も中長期的に保育管理にも関わっていける ことになります。

何しろ「植樹が完了したら、みんなで海岸防災林か ら距離を置く運命なのか」と心配していたので、海岸 防災林マニアの私もほっと胸を撫で下ろしています。

植樹にもさんざん関わってきたので当然ですが、何 より、海岸防災林エリアは心地よく、楽しみも多く、 暇さえあれば出かけたくなります。

「何がいいんだ」と突っ込まれそうなので、海岸防 災林エリアの隠れた魅力を紹介します。

◆魅力その1 快適

風通しと見晴らしが良いのは当然ですが、海が見え なくても心地よい潮風を感じることができます。夏の 下刈り作業は相当暑いと思われがちですが、30℃超 の日でも「暑い」と感じたことはありません。下刈り は、日陰のある「宮城県ENEOSの森」のほうがよ っぽど暑い。たぶん地形と気流の問題だと思いますが、 気分もあるのでしょうか。

多少疲れても、防潮堤に登って雄大な海を眺めてい ると、「まだまだ」という気分になってしまいます。

◆魅力その2 遊びが豊富で行きやすい

昨年も夏は海岸エリアにばかり遊びに行っていまし た。奥山に向かうと、ブユやアブがいっぱいで、斜面 ばかりで、帰りは渋滞する、と悪いことばかりでもあ りませんが、家族連れだとやたらと気を使います。

反面、海岸エリアはまとわりついてくる虫がいない、 基本的に平坦、ほとんど三陸道と常磐道でつながって おり、帰りの運転が全く苦じゃないので、安心して出 かけることができます。

遊べる施設も充実してきました。ほとんどのエリア で海岸公園や緑地公園の整備が進み、最新の遊具がた くさんあります。仙台市の冒険広場や名取市サイクル スポーツセンターは親子に大人気。亘理町B&G海洋 センターや東松島市の松島自然の家、南三陸海のビジ ターセンターなどでは、気軽にマリンスポーツを楽し むことができます。

南三陸 海のビジターセンターには、オオワシの剥製 が飾ってあります。時折、目の前の島にやってくるそ うですが、昨年、お気に入りの止まり木が風で倒れて しまったとか。実物を見てみたいですね。

名取市サイクルスポーツセンターは施設内に大規模 なサイクリングコースを有していますが、サイクリン グなら、仙台市海岸公園センターハウスを中心に、七 北田川河口から名取川河口まで、真っ直ぐなサイクリ ングロードが貞山堀に並行に整備されています。自転 車は仙台市海岸公園センターハウスで借りられるので、 手ぶらでも大丈夫です。旧北上川沿いや奥松島運動公 園沿いのコースも、もうすぐ完成しそうです。

海水浴場は、野蒜海岸がいよいよこの夏にオープン します。既に海岸に降りられるようになっており、現 在トイレや売店らしき建物の工事が進んでいます。

石巻市は追波川が注ぐ白浜ビーチパーク、南三陸町 はサンオーレ袖浜海水浴場がいろいろ遊べて楽しいで す。まもなく三陸道が唐桑まで貫通するので、気仙沼 大島の小田の浜海水浴場、途中にある小泉、大谷、御 伊勢浜の3つの海水浴場もとても近くなりました。

釣り人も昨年あたりから突然増え始めました。各漁 港の工事がどんどん完了しているのと、コロナ禍の影 響でしょうか。貞山堀や各河川の河口ではハゼやセッ パがすごく釣れます。子ども連れには、テナガエビ釣 りが人気のようです。みんなカニカマで釣っています が、裏技は、エビの剥き身で釣ること。共食いさせて 可哀想ですが、はるかに釣れます。3M仙台港パーク では、タチウオ釣りの人とアジ・サバ狙いの人が半々。 あちこちの漁港が釣り人で賑わっていますが、昼間は ヒトデとフグばかり掛かってきて釣りにならないよう です。根魚を釣るには、やはり夜釣りですね。

砂浜は、きれいな貝やシーグラスを探しながら歩く だけで楽しいですね。

◆魅力その3 海岸防災林マニアの遊び

クロマツがどんどん育っているのを見るのは楽しい です。裏表紙の地図で紹介されていますが、知られざ る海岸防災林もけっこうあって、探しに行くだけで楽 しい(のは私だけかも)です。

東松島市の三サ河海岸防災林は、これまで傍を通っ ても全く気づかなかった極小の海岸防災林です。宮城 オルレ奥松島コースの途中で、景観の良い新浜岬の展 望台から大浜に向かって降りていくと、突如姿を現し ます。植栽の記録が見つけられませんが、確かに人工 的に植えた感じでした。ぜひ探してみてください。

来期は、海岸防災林+海岸エリアの遊びというイベ ントが確実に増えます。釣りやサイクリングや湿地の 生き物が得意な方、出番です。ご協力をよろしくお願 いいたします。

枯損~んアップ作戦 コロナ禍での活動開始!

環境・森林事業部 3期 原 恒夫

長引くコロナ禍が収束どころか蔓延して、当協会の ほとんどの活動は中止もしくは大幅縮小せざるを得な い状況です。このような状況下で、県民の森は密を避 け自然を満喫したい散策者には絶好のロケーションで す。しかし、園内の遊歩道沿いはマツ・コナラ・クリ などの枯損木があり危険です。県民の森管理事務所で は定期的に巡視して緊急度の高いものから処理してい ますが、追いつきません。協会では必要に応じて、特 に冬場に集中して伐倒作業を実施しています。冬場作 業の利点は落葉と下草の枯れで見通しが良くなり、比 較的かかり木になりにくいことと散策者が少ないこと があげられます。この冬も12月に2日間ミサワオー ナーの森宮城とイオンの森の枯損木30数本を処理し ました。1月にも2日間予定していましたが、悪天候 で中止となり、2月5日に青少年の森裏の通称「中の 道」の伐倒作業を実施しました。このときの活動の一 部をお伝えします。

当日は天候も回復して参加者は20名、打ち合わせで注意点を確認して3班に分け、体操後に移動して作業を開始しました。わが班6名は1号幹線せいそん句

碑入り口から通称「中(なか)の道」にかけての枯れマツなど了本を処理しました。事前に対象木と伐倒方法方向の確認、チルホールやプラロックの使用、作業手順合図の徹底、見張りをつけるなど安全性最優先で作業をすすめました。また、伐倒後には散策者に危険がないようにきれいな集積に努めました。

作業をしていて特に感じたことは、伐倒作業で少しでもかかり木になる恐れがあれば面倒がらずにチルホールやプラロック・ロープなどの牽引具を使う必要性です。かかり木になってからでは、解くのに何倍も時間を要しますし危険も伴います。安全第一の観点からも習慣づけるようにしていきたいものです。



プラロック使用による牽引

プロ集団、ここにあり!

2期 進藤 恵美

この時期恒例の枯損~んアップ作戦「危険木処理」、 刃物好きの協会員にとっては大いに興味があるとこ ろと思います。が、活動募集案内には「ある程度作業 慣れしている会員」との注記。果たして参加してもい いのもかどうかと戸惑う会員も多いかと思います。足 手まといになるかなあと思いつつも2月5日(火)の 作業日に突撃取材を試みました。

青少年の森から中央記念館に向かうルート上、本日の伐倒目標本数は20本です。数年前に伐倒作業を取材した時、倒すのはせいぜい数本だったような記憶があります。それから研修と経験を重ねて、腕を上げた頼もしい集団ができあがっていました。装備も道具も本格派となった進化ぶりにまず驚きました。

準備を整え、3 チームに分かれて持ち場にいざ出陣。 印のついた木を見つけたら、倒す方向と場所を見極め ます。チェーンソーを操る人、安全確認をする人それ ぞれ役割分担して作業開始。何より安全の確保が第一 です。狙った方向にピタリと決まって雪を舞いあげながら地響きを立てて倒れる様は何度見ても心躍ります。シャッターを切るのも忘れて見とれるばかり。会心の伐倒がツイッターに動画でアップされていますのでぜひご覧ください。(2/5 掲載)

作業終了までにもう 1 本と倒したのが、なんと、かかり木に!処理しなければ遊歩道が危険です。終了時刻に戻ってこないと心配したスタッフからスマホに何度も着信が来ました。が、電波状況が悪くて途切れます。応援に行くから場所はどこだと聞かれますが、この広い山中、私は場所を伝えることができず、なんとか教えてもらい伝えると、ただちに応援チーム到着。ロープをかけてかかり木を引き上げ、枝を払い、玉切りし、散策者の邪魔にならないようにきれいに片付けました。見事なチームプレイ。

解散後、ロープのかけ方について先輩会員から補習をうける姿も見られました。こういう努力を積み重ねてできるようになるんだなあと思いました。どんどん参加して経験を積む、これが「作業慣れ」への道。

令和3年 山開き式

20 期 高橋 秀

1月19日、山開き式を執り行いました。会員46名事務局も併せると総勢50名以上が参加した、昨年1月18日の山開きと異なり、今年は新型コロナ感染拡大防止のため、髙橋会長他事務局のメンバーのみが参加。チョッピリ寂しい山開きとなりましたが、昨年同様、髙橋会長による山の神様へ祝詞奏上に続き、事務局スタッフが会員を代表し玉串(榊)をあげ、今年一年スタッフ、参加者が怪我なくイベントや山作業を行えるよう祈願しました。

昨年は、祝詞を奏上した後、全員でお年玉代わりの、甘酒と餅を頂いた後、山の整備作業や、干支のネズミのクラフトとイベントも盛りだくさんでしたが・・・。

「今年一年、山の安全だけでなく、疫病も早々に退散し、大勢の会員が健康で安全に作業が出来ますように」との会員の思いが、山の神様に届くと良いですね。



祭壇を整え安全を祈願

ビーチコーミングの楽しみ実感 そして垣間見た海と浜辺の深刻な現状

17期 櫻井 道子

1月23日、ビーチコーミング研修が荒浜海岸で開催された。海岸は釣り人以外に人影はなく、我々が独占。青空と蒼海、春を感じさせる明るい陽射と砕け散る波しぶきの輝きに、生命の躍動を感じる。

今年度の会員研修はコロナ禍や雪で中止、延期が多かった。それだけに今回は貴重なスキルアップのチャンス。講師は海の植物と生き物にも詳しい事務局の森山さん。参加者は 10 人。研修の前半は座学、後半はビーチコーミングの体験と漂流物から見る海洋汚染の現況確認である。

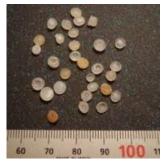
ところで「ビーチコーミング」の定義は、海岸の漂着物の収集と観察。座学では、子どもたちの引率を前提に、避難場所の確認や収集時の服装、準備物、収集・観察上の注意点を学習。特に漂着物の中には劇薬等の危険物もあるので慎重にとの注意を受けた。

ここ数年、協会では子どもたちの海岸防災林植樹の ー環としてビーチコーミングを取り入れている。大切 なことは常に海や天候に気を配りながら、子どもたち に知識を教えるのではなく、楽しさを体感できるよう 見守ること。実際、ビーチコーミングをしてみると、大 人でも珍しい貝殻、宝石のようなガラス片にワクワク する。だがその反面、海岸に漂着したレジンペレット (小さな樹脂粒)や豆管(カキ養殖で使用)等プラスチック はその便利さゆえ今や生活のあらゆる場面で利用され ているが、最近ではマイクロプラスチックが飲料水や 妊婦の胎盤からも検出されている。 2050年には海のプラスチックごみの重量が魚の重量を上回るとの予測すらある。

元宇宙飛行士の向井千秋さんは、「暗黒の宇宙で見る 地球はブループラネット。地球は水の惑星。地球全体 がまるで一つの生き物のように見える。」と。

未来の人々にとっても地球は美しい星と思えるよう、 今、私たちがすべきことはたくさんあるように思える。 ビーチコーミングは楽しいことだけでなくそうしたこ とをも示唆するプログラムと感じた。

レジンペレット



大きさは 2~4mm。 プラス チック製品を作るための中 間材料。

ぬいぐるみや健康用品の詰め物、パチンコ玉の洗浄にも使われる。海鳥や魚の消化器管からも見つかり、環境への影響が心配されている。

豆管



約 15 ミリのパイプ。カキ 養殖で種付けホタテの貝殻 の間隔を保つために使用。 多くは荒天で養殖筏が壊れ た時に流出。漁協によって は回収物を再利用する所も。 シリーズ第4弾(最終回): 森林環境税を探る

完結!森林環境税 その問題点と協会の関わり方

森林整備を進める財源として2024年から森林環境税が徴収されることになりました。森林活動にかかわる私たちも注目すべきことなので4回にわたる特集を組みました。第1回では森林環境税とはいかなるものか、税の仕組みを取り上げました。第2回は森林整備の指針となる「森林経営管理制度」の運営の主体となる市町村の体制を知るために、活動で関わりのある市町村に聞き取りに行きました。まずは森林の持ち主に対して意向調査を第一に考えていること、また資金の有効な活用を探るため基金としてプールしている現況が窺えました。第3回では、マンパワーも専門知識も不足する中で「森林経営管理制度」という重い責務を課せられた市町村に対して、県がどのような支援をしようとしているのかインタビューしました。使途は市町村の裁量であることから県はサポート役であること、相談等の体制を整えて市町村独自の活用を支えようとしていることがわかりました。木材利用や、普及啓発に協会の力を生かせそうな手応えもありました。最終回では制度の問題点と、協会の関わり方について考えてみます。



これまで本誌で紹介されてきたように、森林環境税には、平成31年4月にスタートした「森林経営管理制度」が大きく関わっています。簡単に言うと、「採算のとれる森林(主にスギ林)は森林組合などプロの林業経営者に適正な管理をお願いする。採算ベースに乗らない森林は市町村が整備・管理する」という制度ですが、これでは市町村の財政を圧迫するだけなので、その費用は国民が均等に負担しましょうということでできた税金です。

何しろ、私有林は整備する以前に持ち主や境界を見つけるだけで大変な労力がかかる場合が多いので、誰も手をかけたくないのが本音だと思います。

「森林経営管理法」では、全般的に、不明森林に対して自治体による事実上の公有林化の権限が強化されたので、いろいろな点でやり易くなったのは事実です。

しかし、従来から森林管理は国⇒都道府県⇒森林組合のルートを基本としてきたので、市町村の林務体制や林業関連予算は貧弱なものです。森林整備や林業振興のための予算をもらっても、かえって困惑する市町村が多いのも事実です。

ただ、採算性の無い森林を守る主体は自治体しか考えられないので、その自治体に予算的措置を講じる必要があるというのが国の考えです。

税制がどんな形であっても、どんどん間伐して公共 事業等に活用するシステムができれば、理論的には環 境保全と国産材の需要拡大をセットで推進し、林業の 担い手も増やせるのです。

森林の持つ公益的機能や外部経済効果を考えたら、 1人1,000円なんてレベルで足りるわけがない。環境に対する国民の関心が高い現在であれば、この程度の 負担は国民も理解してくれるはずなのです。

しかし、ふたを開けてみれば、制度の仕組みはかな りめちゃくちゃです。以下、私が考える問題点を列記 してみます。

1つめは、国民があまりにも知らないことです。昨

年度から自治体への譲与が開始された森林環境譲与税ですが、国民への課税は5年後からです。明らかな増税ですが、タイムラグがあって見えにくくなっており、「増税隠し」や「人頭税」との批判もあります。負担する国民から見れば、既に払っていた東日本大震災の復興財源確保のための住民税均等割の引き上げ額1千円が、終了とともに森林環境税にスライドする感じなので、増税感は薄いかもしれませんが、地方税が知らない間に国税に変わる時点でおかしな話です。

2 つめは、自治体への配分割合が森林のためだけになっていないことです。森林面積が我が県の5分の1以下しかない東京都に我が県の倍以上の予算が充てられています。森林率が低く林業のイメージからもっとも遠い横浜市、大阪市、名古屋市などがかなりの額の譲与を受けます。人口割3割が効いているのだと思いますが、いったい何に使うのかと笑いたくなります。

3 つめは、この予算を上手に使える市町村がどれだけあるのかということです。徴収・配分するのが国で、実際に活用するのが市町村なので、その感覚に大きなずれが生じるのはあたり前のことです。当面2割の予算をもらって市町村を支援する役割を担う県の立場も微妙です。

当協会が関われるかどうかについては、令和3年度から事実上自治体が行う海岸防災林の保育や、自然体験の普及等に森林環境税が使えるかどうかにかかっていると言えますが、現時点では分からないというのが結論です。

やるべきことは、周辺市町村との連携を強化し、協 働事業の提案をしていくことでしょうか。

幸い、「みやぎ海岸防災林・森林づくり協議会」の設立によって、各市町村と相談できる機会が増えそうです。税制にはがっかりしながらも、何とか宮城県の森林・林業に少しでもプラスになる施策に関わっていけないだろうかと、連日のように頭をひねっています。

(1期 木村健太郎)



1月17日≪県民の森野鳥クラブ≫

9期 小島 恵子

声は聞こえど姿は見えず・・・。野山歩きが好きな私にはそれが一番残念でならないことです。1月17日、今年初の野鳥クラブに参加しました。さあ、どのように野鳥との出会いができるのか楽しみです。青少年の森 森の学び舎に集まり、代表の永田さんより挨拶と今月の野鳥観察まめ知識として「春告げ鳥ウグイス」にちなむ話、また、野鳥観察下見情報が詳細に記された資料をいただきました。総勢15名程でしたが、今日の曇天と雪の残る足元のためか、これでもいつもの半分ですよとのこと。沢山の方が野鳥に魅せられていることに驚きです。屋外に出るとすぐ目の前の木々の間や高い梢に小さな小鳥たちが飛び交い、これは珍しいことだとメンバーの歓声が聞かれました。ところが私には小鳥たちの動きに追い着けず、張り切って持参した双眼鏡も野鳥図鑑も役に立ちません。岩切城址に上っていくと、皆がカメラやスコープを同じ方向に向けてシャッターチャンスを狙っています。「ルリビタキ」です。青く小さな体で枝から枝へ飛んでいます。JRの構内で視覚障害者の方の安全のため、音響鈴(さえずり)として利用されているのがルリビタキのさえずりだそうです。また、キクイタダキの声を聴くことができました。とても小さな鳥で、なんと5g(1円玉5枚分)しかないのだそう。遠方の鉄塔にオオタカ(肉眼では見えなかった)をスコープで見せていただきました。オオタカが現れると近辺の鳥たちは姿を隠してしまいます。前号の誌上講座に寄稿いただいた高橋さんに鳥を覚えるコツをお聞きしました。気になる10種ほどの声を聴き覚え、何度も足を運びながら姿と重ね合わせていくことがよいのだそう。また、日本野鳥の会「声でわか



ねらいをさだめて



ルリビタキ

スをいただきました。森の学び舎に戻ると、参加者の皆さんで、本日見た、聴いた、野鳥の種類を確認し合い終了となりました。皆さんは県民の森はもちろんのこと大沼、加瀬沼、蒲生等、マイフィールドで楽しんでいる様子。庭がマイフィールドだよと笑顔の方も。私もまず庭でスタート。

る山野の声」等の CD を利用することもとっておきの方法だとアドバイ

2月10日≪県民の森ノルデイックウォーク≫ 2期 進藤 恵美

毎月第2・4水曜にノルディックウォーキングが開催されています。季節の植物を観察しながら歩けると人気のイベントです。ノルディックウォーキングはフィンランドが発祥で、ノルディックスキーの夏の練習の為に考案され、それが一般の方々の健康増進に誰もができる手軽な有酸素運動として広まりました。専用のポールを使って歩きますが、レンタルも用意されています。ポールは、ついて歩くのではなく後方斜め下から地面を押し出すように使い、大股で歩くのがコツ。本日の参加者は29名。コロナ禍で外出が制限される中、森の中のウォーキングを楽しみに参加したみなさんです。本日のメイン講師は高橋会長。蜂谷さんと坂井さんが脇を固めます。

ポールを使ったストレッチで体をほぐしてから出発。今日は中央記念館から「せいそんの句碑」方面に向かい青少年の森に下ります。トイレ休憩後にため池方向に出てラクウショウ脇の遊歩道を通り、野外音楽堂の下から登って戻るというコース。道中、広葉樹でありながら2月半ばにも葉を落とさないイヌブナ、花粉を飛ばす準備ができたスギ、大きく花芽が膨らみもうすぐ咲きそうなクロモジ、そしてかわいらしくクルクルと開花した黄色のマンサク等、植物の姿を観察しました。参加者も植物に詳しい人が多くて知識の交換で和気藹々。冬と春の境目の今、雪景色と早春の花々の両方を楽しむことができました。最後の挨拶は「キートス」。ポールを掲げてお疲れ様の挨拶をして解散しました。



歩く前後にポールストレッチ



冬枯れの木立を歩く

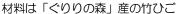


マンサクの花

1月22日≪県民の森竹クラフト講座≫ 2期 進藤 恵美

竹クラフト講座は開講して 5 年になります。毎月1回の開催で、子どもでも作れるおもちゃから高度なテクニックを要する竹カゴまで幅広い年齢層に人気の催しです。1月からは3回シリーズで竹カゴ作りをします。初参加の男性は、楽しみを見つけながら豊かな時を過ごしたいので様々なことにチャレンジ中とのこと。2回目参加の女性は、前回作った作品を床の間に飾って彩り豊かなお正月になったと話してくれました。本日は練習用竹ひご18本を使って六つ目編みで底を作ります。1カ所間違うとどこがどうなっているのか大混乱。頭の体操、まさにパズルです。ほどいては最初からの繰り返しで、完璧マスターをめざします。なんと第1回はひたすらこの練習!でした。成果物を持ち帰るだけの講座が多い中、一人でできることを目指すとはさすが、会員が講師ならではの高レベルの講座です。材料はメイン講師の半田さんがぐりりの森の整備で切り出し、数ヶ月かけて竹ひごに加工したものです。補助講師の永田さん、板坂さんは以前の講座を受講してから練習を重ね、指導できるまでの腕前になりました。今回の講座にも未来の指導者を目指す会員が熱心に参加していました。竹の成長はとても早く、環境問題が言われる中、持続して活用することのできる天然資源として注目されています。カゴ編みに向き合いながら思いを里山再生に馳せる活動でもありました。立ち上がり、縁編みとまだまだ難しい課題が続きます。練習期間を十分に取って、完成は3月末です。







組み方に四苦八苦!



憧れの完成品

2月7日≪ことりはうすの雪遊び≫

2期 進藤 恵美

ことりはうすの冬の最大イベント「雪遊び」、みぞれ混じりの雨にもかかわらず大勢の親子が集まりました。開始を待ちきれない子どもたちは雪だるまを作ったり坂を滑り降りたり、ぬれても元気いっぱいです。プログラムは4つ。最初は的当てゲーム。雪玉を投げて鬼に当たれば景品ゲット。チャンスは3回、風を受けて的が動くのでなかなか難しい。雪玉タワーゲームは家族チームで雪玉を積み重ねて高さを競います。なんと制限時間が20分も。腰の高さまで積み上がり入賞目前と思ったのもつかの間、雨であっという間に崩れ去り一からのやり直し。制限時間間際に崩れるチーム続出。長い時間を充てることがドキドキ感を増しました。雪原に隠されたカードを探す宝探しゲームは100枚ものカードが隠されていましたが、元気な子どもがあっという間に回収。1枚も取れないと泣き出す子もいたけれどそこは勝負の世界。プログラムがすすむにつれ天気も快復し、最後は制限時間30分でユニークな雪だるまづくり。家族が力を合

わせた、たくさんのかわいらしい力作が出現しました(作品はことりはうすブログで見てください)。伊藤所長の独断と偏見で入賞作が決定されました。締めくくりに宝探しで見つけたカードの抽選会が開かれ、ことりはうすならではの木工製品やクラフトが当たりました。カードを探せなかった子ども

にも特別プレゼントが 用意される気配りぶり はさすがに優しい。寒さ にも悪天候にも負けず に大人も子どもも存分 に冬の遊びを楽しんだ



宝さがしカード大抽選会



ことりはうすの職員の皆さんと

「ことりはうす」は変わったよ

16期 高平 和彦

「ことりはうす」は変わりました。

受付を済ませると、すぐ右手の壁一面に32個の野鳥の名が漢字で書かれています。そして、「何個読めるかな?」と愛鳥家の自尊心をくすぐります。(グフフ。俺は30個分かったぞ。ほぼ完璧に近いな!などと。)

少し進むと「蔵王のすがた」のコーナーがあります。福井美津江さん他の皆様からの寄贈による64枚の鮮明な写真が、見る人の視線を釘付けにします。 詳述しますと、春夏秋冬の蔵王の鳥、森と水辺の鳥、魚と昆虫、動物と植物、自然と樹氷などの12のテーマで展示されています。入館者が少なければ、じっくりと時間をかけ、見ることができます。

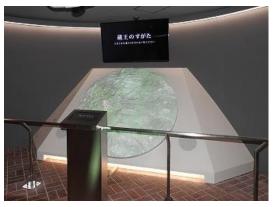
1 階には他に、「蔵王のれきし」のコーナーがあり、 ①火山活動②火山への信仰③火山がもたらす恩恵に ついての展示に加え、標高によって変わる「蔵王の 動植物・昆虫」のコーナーもあり、山地帯・亜高山 帯・高山帯に棲息する代表的な動植物などを分かり やすく見てもらえるようになっています。

2 階に上がると、近隣で見かける野鳥を剥製で展示しています。バードウォッチングで見ることのできる野鳥の姿を「ウン、ウン」と頷きながら見ることができます。

子どもたちにも大人にも人気のネイチャークラフトや木工は、変わらず楽しめます。

3月は設備の改修他の工事で休館となっています。 トイレの改修も行われ、全て洋式となるため、入館 された方々や職員にも快適になることでしょう。

3月の声を聞くと、野鳥の森では、標高の低いコゲラコースやホオジロコースでは、マンサクが咲き、下旬にはキブシの花、フキノトウも見られるようになります。4月に入れば、カタクリ・ミズバショウ・ヒトリシズカ・エイザンスミレ他が次々と咲き出します。可愛い野草たちが待っています。



蔵王のすがたを鮮やかに映す

県民の森 防火巡視

16期 浅野 幸徳

県民の森では2~5月に防火巡視の仕事があります。毎日、広い園内を2人で別々に巡視し森林火災の危険がないか確認をします。他には、枯損木や階段の破損の有無、散策者への声かけ、ゴミ拾いなど通行の安全に関する確認をします。



鶴ヶ丘から「こならの道」に入り、急な階段を登ると開けた所があります。こは以前に山林火が発生し5,230 ㎡が焼失、県民の森がが焼失、帰の被害があった場所です。出火

したのは初めての巡視の日で、消防車のサイレンを 聞き、近くまで行きました。辺り一帯に立ち上がる 炎と煙に圧倒され、火災の怖さを実感しました。

何日かして再発防 止策として、焼けた 立木の除去や刈り払 いが行われ、高台に は丸太のベンチが設 置されました。こく からの風景は良っ 眼下に松陵の家並み



や蔵王の山が見渡せます。散策者の休憩の場にもなっています。

昼休みは、「かしわ苑」の四阿で景色を見ながらの 食事も最高です。晴れた日は栗駒山が遠望できます。 桜の咲く頃は、「はぎ苑」から見る泉ヶ岳も素晴らし い景色です。雪晴で咲く「梅苑」のウメ、「みつまた



ウメの見頃は3月上旬

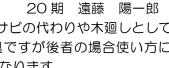
の道」もきれいです。徒歩での巡視は時に2万5千歩以上になります。長い時間歩くのも大変ですが、花や木や動物と季節感を味わう仕事も満更でもなく楽しく思います。





安全教育テキストの行間を読む







伐木造材作業中

コロナ禍 のこんな時 こそと伐木 造材の特別 教育テキス トを見てみ ると面白い ことに気付 きました。

作業によっ

て難易度はそう変わらないのに説明内容に差があり すぎるという事です。例えば直近のガイドラインでも 力を入れている中・大径木のかかり木の処理について、 「かかり木のつるの一部を残し支点を作ります」とさ らっと記載されていました。しかし、これが結構慣れ を必要とする作業で、バーがはさまれたり、裏刃使用 時にキックバックしたり、切り過ぎて木が予期せぬ回 転をしたりと危険要素も多いはずです。私ならば、裏 刃を使わないように逆手持ちしたり、手鋸にしたりす るかななんて考えたり。また、作業用具の項でフェリ ングバーが紹介されていますが、使用頻度が高い割に

は名前と絵だけです。クサビの代わりや木廻しとして 利用したりと便利な道具ですが後者の場合使い方に よって重大事故の要因となります。

- 1.両足を揃え全体重かけて引いていたら爪がはずれ た
- 2.右に廻そうと前足を左足として引いたら木が回転 し、勢いで体が木の下側へ行ってしまった などです。

対処法としては、1は絶対禁止、2は回った時、常 に体の正面側にかかり木があるように足を置く、この 場合右足が前。その他、爪の掛かりの確認、回り始め たらフェリングバーを離し退避する等でないかと思っ ています。

他の項目でも、なぜ書いてないの?・・と違和感は 多数ありますが、このテキストを基本として今回改め て実践に即した危険を自分なりに考えるきっかけとな りました。今後も対象となる木々には感謝の念を忘れ ず、安全に活動を続けていきたいと思っております。

最後に一言

『我々はプロではない、しかし危険と事故はプロもボ ランティアも関係ない、プロでないことに甘えない』

リレー式 会員の広場

今できることを



会員になり、5年目になりました。なかなか協会活 動には参加できていませんが、今できることをやって 行きたいと思っています。

令和元年 10月 12日の台風で不通になっていた阿 武隈急行線が令和2年10月31日に1年振りに開通 し、11月20日に丸森小学校2年生が我が家へやっ て来ました。例年ですと、あぶくま駅から歩いて来る のですが、今年は道路が壊れていて危険なので、バス で元羽出庭分校へ到着。そこから坂を登ると我が家で す。我が家は酪農を営んでいます。毎年子どもたちが、 校外学習でやって来るのが楽しみです。しかし、今年 は台風 19 号やコロナ感染の影響で、無理かな~と思 っていましたので、学校から受入依頼の連絡があり、 とても嬉しかったです。

子どもたちが、元気に挨拶をしてから、大きな声を 出さない、走らない等の注意事項を確認して活動を始 めます。我が家は、フリーストールという飼い方で、 牛が牛柵の中を自由に歩いているので、人も牛も、安 全に触れ合うことができます。牛に慣れてもらえるよ うに、子牛にさわれる子は触れてから牛舎へ行きます。 最初は、牛の大きさにびっくりしたり、臭いに鼻をつ まんでいる子 や、恐がって 泣いている子 もいます。で もエサをあげ たりさわった りして牛を知 ることで、恐 さがなくなる ようです。最

後は、子牛に乗 りたい子には乗



子牛とのふれあい

せてあげます。これで大方の子は、笑顔になってくれ ます。これからも、子どもたちが楽しく校外体験でき るように、受け入れていこうと家族で話をしています。

私は、森の中にいると癒されます。特にブナの森が 好きです。森の大切さを、伝えられる人になれるよう に、いろんなことに関心や興味を持って暮らしたいと 思っています。これからもよろしくお願いいたします。

※ 次回は19期の伊藤晃さんにリレーします。



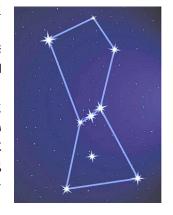
ひよこインストラクターのよもやま話⑪

今回は私が好きな星空のお話です。皆さんは普段、 どれくらい星を見ているでしょうか。3月の19~20 時頃の空には冬の星座と呼ばれる明るい星が煌めい ています。その中でひときわ目を引くオリオン座の星 と春に見ごろになる星の名前の話をご案内します。

オリオン座は冬の代表的な星並びであり、ひときわ 目を引くのが南の空に綺麗な等間隔で斜めに見られ る3つの三つ星です。その三つ星のすぐ下に小さな星 が3つ、一直線に並んでいるのが小三つ星(こみつぼ し)です。最近は街明かりの影響で見つけるのが難し いかもしれませんね。星は昔から季節や時刻を知らせ るものとして親しまれ、誰もが気軽に時計を持つよう になるまでは生活や生業の知恵として使っていまし た。宮城県では三つ星をサンダイショウ(三大星)、小 三つ星を含めてサンダイショウグン(三大将軍)とソノ ケライ(その家来)、などと呼んだようです。 昭和 20年 ころに作並の山奥で炭焼きをしていたおじいさんの お孫さんは「炭焼きの火入れや火止めの時間は"三大 将軍とその家来がみんな教えてくれた。とおじいさん は云ったもんだ。」「三つ星や小三つ星が山の頂きを通 過したり、山や大木の陰に隠れたり現れたりすること で時刻を計っていたのだった。このことを知ったとき、 子ども心にもおじいさんの観察眼に驚かされた。」と 語っています。三つ星はほぼ真東から縦一列の姿で登

り、南の空を通って真西に 横一列となって沈みます。 そのため、方角・時刻・季 節などを知る絶好の目印 となった星並びなのです。

4月の下旬ともなると 同時刻でも三つ星はだい ぶ西にあり、北東の空には 柄杓の形の北斗七星が見 られます。柄杓の柄をカー ブにそって伸ばしていく



と橙色の星アークトゥルスに届きます。アークトゥルスはムギボシ(麦星)、ムギカリ(麦刈り星)という和名があり、麦の収穫期にピカピカとよく光る星として農業の目安としていたのです。私も天体観測をしていて、この星が出てくると春の訪れを感じます。

これらは仙台市天文台職員の千田守康さんからお聞きした事をもとにしています。昔の人は自然をよく見ていますね。皆さんの周りでも星や自然を使っていた記憶はありませんか?千田さん著の『ふるさとの星和名歳時記』という素敵な本があります。星や季節を楽しむツールに加えてみませんか?

(18期 阿部 映美)

「花ごよみ『県民の森で見られる植物』」(13 期駒野健吾さん作成)が完成しました。県民の森中央記念館、 青少年の森学習館で閲覧できます。スゴイよ! データご希望の方は中央記念館にお問い合わせください。

公式ツイッターはこちら

@mifi_koushiki







3月21日まで、中央記念館 1階展示ホールにて「第13回 みやぎの森林・林業写真コンク ール展」を開催中。森林の大切 さを理解してもらうために毎 年写真を公募しています。次回 には応募してみてはいかが。



生物多様性を考えるフォーラム

豊かな自然を次の世代に引き継ぐため、生物多様性を理解してもうためのフォーラムが例年開催されています。令和2年度生物多様性フォーラムはホテル白萩を会場に2月6日(土)に開催されました。日本在来の生き物たちに様々な影響を与えている外来生物。このやっかいものたちと闘い続け、絶滅したと考えられていた日本固有の淡水魚「シナイモツゴ」を含む在来魚の復元に取り組む特定非営利活動法人シナイモ

ツゴ郷の会、高橋清隆理事長の講演を聞きました。ブラックバスの駆除に続き、アメリカザリガニと格闘中で、地域の人達を巻き込む工夫や、活動を続けるための資金獲得の知恵など私たちの活動にも大いに参考になるお話でした。

活動の詳細はシナイモツゴ郷の会のホームページをご覧ください。

https://www.shinaimotsugo.com/

今年もやってます「川柳2021」、投稿随時募集中!



☆☆☆編集後記☆☆☆

「リレー式会員の広場」で19期生のエッセイが続いています。茂木さん、田沢さんに続き今回は大槻さん。同じ19期生として皆さんの近況が分かってうれしい限りです。大槻さんのエッセイでは牧場に子どもたちが戻ってきたとのこと。台風・コロナと続く中でなかなか校外学習に行けずにいた子どもたちが、大喜びで活動している様子が目に浮かびます。まだまだこれからもコロナと付き合っていかなければならないとは思いますが、光が見えたような気がする嬉しいニュースでした。大槻さん、ありがとうございます!(19期:横山美喜子)☆例年ですと節分の日に当たる私の誕生日が、今年は立春に当たるそうですが、河北新報では、3日榴岡公園のロウバイが咲き始めたとのこと、早速公園に行ってきました。公園は一面枯木立、その中で、写真に収めに来た人がいるその先に、見ると、ロウバイの薄紅がかった黄色の花が咲き始めておりました。春告げ花などと言われているようで、春の兆しを少し感じ、ホッコリした感じになりました。(マスクを外して花の香をかいでみましたが、香りはしません。もしかしてコロナの嗅覚障害では。)(14期:原田良一)

出かけましょっ!みやぎの海岸防災税と自然体験施設マップ 次号から、海岸防災林現地ルポが始まります 次号は気仙沼から 海岸防災林名 ★ 主な海岸防災林の位置 取材開始! 現在当協会が関係している海岸防災林 植樹地の名称 直接の協定地 気仙沼市 海岸防災林周辺の主な自然体験施設 唐桑半島 田中浜 気仙沼大島 尾崎・千岩田 2015年から取り組んできた海岸防 > 小田の浜 唐桑半島ビジタ 災林再生活動の植樹が終了しました。植 大谷海岸 樹から5年が経過したクロマツは樹高が 野 中島海岸 3m程になり、枝打ちや除伐の段階に移 岩井崎・杉ノ下 っています。 御伊勢浜 震災から10年、復興が進み被災地域 沖の田 平成の森キャンプ場 歌津 の様子もすっかり変わりました。反面、 伊里前湾 世間の興味も薄れてきて防災林に対する 南三陸町 楽天・荒島パーク サンオーレ袖浜海水浴場 支援も低調になっています。 志津川湾 波伝谷 この機会に、宮城県の海岸防災林と周 戸台 * 辺施設を紹介します。観察がてらお出か 南三陸・海のビジターセンター 宮城県志津川自然の家 けしてはいかがでしょうか。次号からよ - 白浜ビーチパーク り詳細な現地ルポを掲載予定です。 追波川 追波湾 長面 石券市 長面浦 雄勝湾 浜 市 ガス&ライフ 白銀崎 そらっぱクロマツ防災林 矢本海浜緑地公園 牧山市民の熱 女川町 御前湾 カワイの森 自北上川」 東松島市 女川湾 洲崎(野蒜) 石巻工業港 渡波 鳴瀬川 みどりの少年団大会植樹地 吉田川 桃浦 三廿河海岸防災林(東松島市) 曲 三サ河 そらっぱクロマツ防災林 牡鹿半島 宮戸島 カワイの森 十八成・白浜 松島湾 ナイス東松島 海岸防災の森 七北田川 みどりの少年団大会植樹地 金華山 鮎川 七ヶ浜町 砂押川 三陸復興国立公園 代ヶ崎浜 仙台新港 網地島 七ヶ浜町代ヶ崎浜区 仙台市 蒲生干潟 菖蒲田浜 七ヶ浜町菖蒲田浜地区 仙台市海岸公園 センターハウス キックオフ植樹 冒険広場・馬術場 名取川 ㈱ジャパンクリーン ふるさとの杜再生プロジェクト 井土浦 荒 浜 名取市 ゴルファー未来の森 仙台 / ゴルファー未来の森 北官林 そらっぱクロマツ防災林 / クミカの森 / カワイの森 取市サイクルスポーツセンタ 仙台空港 六郷小の森(潮除須賀松の森 直接協定地) 岩沼市 相の釜 ナイス荒浜 海岸防災の森 / 日遊協 共生の森仙台 (3ヵ所) 阿武陽川 亘理町 川向(寺島) 亘理町B ㈱ジャパンクリーンきぼうの森 / そらっぱクロマツ防災林 鳥の海 TEAM ID / 潮除須賀松の森 (海岸林キッズ植樹地) 牛橋河口 牛橋河口 山元町 須賀(山寺)



-山元町深山山麓少年の森

中浜・磯浜

坂元川河口

発行 特定非営利活動法人 宮城県森林インストラクター協会

海岸林キッズの森 (直接協定地)

ゴルファー未来の森 山元

/ クミカの森

〒981-0121 宮城県宮城郡利府町神谷沢字菅野沢41 青少年の森 TEL&FAX: 022-255-8223

メール: mifi@bz04.plala.or.jp HP: http://mifi.main.jp

